

名 称	群馬県立大間々高等学校 P T A
会 員 数	3 6 7 人（令和 6 年 5 月 1 日現在）
組 織 ・ 運 営	1 組織 本部役員 39 名 （会長 1 名 副会長 6 名 書記 2 名 会計 3 名 監事 2 名 学年委員 2 名） 2 運営 本部役員会 年 5 回程度開催している。その中で、PTA の各事業に向けた具体的な計画や総会議案書の審議を行っている。その他、東毛地区研修会、県の指導者研究集会、関東・全国の PTA 連合会大会に参加している。
主 な 活 動	1 大間々祇園祭への参加 寛永 6 年から始まり、もうすぐ 400 年となる伝統をもつ大間々祇園祭りの神輿パレードに参加した。コロナ禍を経て 4 年振りに盛大に開催された祇園祭はとても賑やかであり、天気にも恵まれ暑い中、沢山の生徒が参加して御神輿を担いだ。琴平神社前から赤城駅まで、休憩をしながら進み、途中で地域の方々に声を掛けてもらったり、お茶を頂いたり、水をかけてもらいながら地域と一体となって行われたパレードであった。「わっしょい、わっしょい」と声を掛け合いながら、一生懸命に担ぐ姿に元気もらうことができた。   2 渡良瀬特別支援学校との交流事業 みどり市笠懸町鹿田山にて渡良瀬特別支援学校高等部との交流・共同学習として行われたサツマイモの苗植えに参加した。生徒たちに教えてもらいながら、土に穴を掘って苗を寝かせて土をかける作業を行い、夢中で繰り返していくうちに楽しそうな会話が聞こえてきて、あっという間に終わってしまった。 秋には芋掘りが行われ、どの株を掘り起こしても大きく、どっしりとしたさつまいもを収穫することができた。あちらこちらから「うわ！大きい！」「まだ出てくるぞ！」と楽しそうな声が飛び交った。  

3 SDGs みらい探究 地域探索フィールドワークへの参加

大間々高校では、地域の魅力や課題を見つけ、地域課題の解決に向けて動き出す旅＝地域探索フィールドワークを全学年で実施している。11月、天候に恵まれフィールドワークが行われた。各学年それぞれの場所にて体験・学習を行い、1年生のコースの中では、富弘美術館を生徒と一緒に体験した。やわらかなタッチの植物や心に響くメッセージは、生きる喜びや感動を気づかせてくれ、作品を鑑賞しながら心あたたまるひとときを過ごす事ができた。



4 その他

(1) 地域清掃

毎年恒例で5月上旬に行われる地域清掃に参加した。設定されたコースに沿って歩き、落ちているゴミを拾いながら、すれ違う生徒達の挨拶がとても気持ち良かった。新学年となって間もなくの頃だが、生徒が会話も楽しんでいる様子が見受けられ、微笑ましく感じた。作業を終え学校に戻る頃には、それぞれがいっぱいになったゴミ袋を持ち、出発の時より更に打ち解けた生徒達が見られた。



(2) マラソン大会への協力

青空の秋晴れの中、新里総合グラウンドにてマラソン大会が行われた。PTAの保護者が役割分担し、走路上のポイントで生徒たちの安全をしっかり見守りながら、走っている姿を応援した。真剣に走る子、自分のペースで走る子、友だちと笑いながら走る子、全員が良い顔をしており、前向きな姿に心打たれた。見守る先生方が生徒を熱く応援する様子や、生徒達が安全に走れるよう細やかな配慮をしていることを知る事ができ感動した。



名 称	群馬県立前橋商業高等学校 P T A
会 員 数	8 2 0 人（令和 6 年 5 月 1 日現在）
組 織 ・ 運 営	1. 組織 （1）本部役員 15 名 （会長 1 名 副会長 3 名 書記 5 名 会計 3 名 会計監査 3 名） （2）学年理事 21 名（各クラス 1 名：各学年 7 名） （学年ごとに、委員長 1 名 副委員長 1 名 書記 1 名 会計 1 名 会計監査 1 名） （3）実行委員会（学年理事より選出） 常任理事 7 名（3 年学年理事） 進路委員会 7 名（2 年学年理事） 補導委員会 7 名（1 年学年理事） 2. 運営 （1）本部役員会 校内の本部役員会（年 4 回）のほか、地区・県の指導者研究集会や関東、全国大会に参加。 （2）学年理事 校内の学年部会（年 1 回）に参加のほか、年 1 回実施される県下一斉マナーアップ運動に参加。 （3）実行委員会 必要に応じて開催される実行委員会に参加のほか、各委員会行事に向けて、委員会ごとの準備会に参加。 ・常任理事会…卒業式に開催され、次年度の PTA 会長を互選する。 ・進路委員会…進路希望実現に向けて必要な指導計画の実践に教職員と協力していく。 ・補導委員会…学校外において健全な生活が送れるよう、必要な指導計画の実践に教職員と協力していく。
主 な 活 動	1. PTA 総会 毎年 5 月の平日に開催し、本部役員会で提案された前年度事業報告、会計報告、本年度の行事計画案・会計予算案、新役員案等の審議・承認を行っている。なお、当日は総会の前に各学年理事会を開き、委員長選出等を行っている。また、学校公開の観点や健全育成に向けた情報交換の場として、授業参観および図書室の開放やクラス別の懇談会も実施している。 2. PTA 新聞の発行 年 1 回年度末に発行している PTA 新聞では、本部役員などが参加した県内外の PTA 行事の報告や進路体験報告、部活動の全国大会進出生徒の紹介など、1 年間をまとめた活動について広報している。発行を通して、会員相互の情報共有を図っている。

3. マナーアップ運動

各学年の学年理事を中心に、本部役員の協力を得て、県下一斉マナーアップ運動を、前橋駅や学校周辺の交差点などで実施し、あいさつの励行や交通安全に対するマナーなどの見守りをしている。



4. 土曜活用の実施

商業高校の特徴でもある資格取得に向けて、検定直前の土曜日を活用した検定講座を、PTA 主導で計画し参加を募って実施している。特に部活動が盛んな本校では、平日の放課後等を利用した補習時間の設定が難しいため、土曜日の午前中に一斉に行うことで成果を上げている。

令和6年度 土曜活用日程予定表

学年		1 年	2 年	3 年	備 考
9 月	7	英語（全商対策）	英語（全商対策）	英語（全商対策）	9/ 8日 全商英語検定 9/22日 全商情報処理検定
	21	情報（全商対策）	情報（全商対策）	情報（全商対策）	
11月	9	ビジネス計算（全商珠算・電卓対策）	ビジネス計算（全商珠算・電卓対策）	ビジネス計算（全商珠算・電卓対策）	11/10日 全商珠算電卓検定
12月	7	英語（全商対策）		英語（全商対策）	12/15日 全商英語検定
	14	英語（全商対策）	英語（全商対策）	英語（全商対策）	
1 月	18	情報（全商対策）	情報（全商対策）	情報（全商対策）	1/19日 全商情報処理検定
	25	簿記（全商対策）	簿記（全商対策）	簿記（全商対策）	
2 月	1	商業経済（全商対策）	商業経済（全商対策）	商業経済（全商対策）	2/2日 全商商業経済検定

○各講座は1日60分3コマを原則として実施します。

1時間目8:50～9:50 2時間目10:00～11:00 3時間目11:10～12:10

5. 学校行事への協力

①あいさつ運動



生徒会主催の挨拶週間に3年前から年1回5日間参加し、基本的な生活習慣の定着はもちろん、様々な視点で子どもたちの様子を見ることにより、子どもたちの健全育成に寄与している。また、生徒も大人とあいさつを交わすことで、自然体を磨くことができる。

②前商祭参加

隔年（令和5年度より）で実施される文化祭に、PTA 企画として毎回参加している。前回（コロナ禍により平成29年度）までバザーを実施していたが、物品の提供状況などを考慮し、令和5年度の文化祭から物販企画で参加し、地域業者との連携を図ることも目的に実施している。



名 称	群馬県立藤岡工業高等学校 P T A
会 員 数	2 8 2 人（令和 6 年 5 月 1 日現在）
組 織 ・ 運 営	1 組織 （1）本部役員会 23 名 （会長 1 名 副会長 5 名 書紀 6 名 会計 8 名 会計監査 2 名 名誉顧問 1 名） （2）委員会（本部役員で編成） ・生活指導委員会 5 名 ・進路対策委員会 6 名 ・保健厚生委員会 5 名 ・教養文化委員会 5 名 2 運営 PTA 行事への参加は役員の都合に合わせて参加してもらい、負担にならないようにしている。 （1）本部役員会 校内の本部役員会（年 4 回）のほか、地区・県の指導者研修会、関東大会に参加や、全国大会へのオンライン参加。 （2）委員会 ・生活指導委員会 生徒の安全(マナーアップ運動等)に関する事業を行う。 ・進路路対策委員会 生徒の進路(研修視察等)に関する事業を行う。 ・保健厚生委員会 生徒の保健厚生(学校保健委員会等)に関する事業を行う。 ・教養文化委員会 PTA 活動の広報(広報誌 藤友 発行)
主 な 活 動	1 PTA 総会 例年 5 月の最終土曜日に実施している。同日に授業参観、学年・学級懇談会も実施し、多くの会員の参加がある。   2 広報誌「藤友」の発行 年 2 回（10 月・3 月）PTA の活動、部活動・生徒の活躍、進路の情報等を載せ公開をしている。  

3 PTA 進路研修視察

PTA 進路研修視察では本校卒業生がお世話になっている地元企業に協力していただき、保護者にも地元企業を知ってもらっている。



4 PTA によるマナーアップ運動

生徒の交通安全確保と交通マナー向上のため活動している。具体的には、生徒の朝の通学時間帯に本校正門及び近辺の交差点等に立ち、交通安全指導を行う。



5 その他

・長距離走大会の補助

コースでのチェックポイントに立ち、大会運営の補助を行う。



・廃食用油の回収協力

本校では、生徒に環境意識を高めてもらうため廃食用油の回収を行い、リサイクル業者に提供している。廃油はPTAのほか市社会福祉協議会や市内の保育園からも持ち寄ってもらっている。



名 称	明和県央高等学校教育振興会
会 員 数	684人（令和6年5月1日現在）
組 織 ・ 運 営	1. 組織 （1）本部役員会 14名 （会長1名 副会長4名 書記4名 会計3名 監事2名） （2）理事会 670名 （1年211名 2年249名 3年210名） 2. 運営 （1）本部役員会 本部役員会（年5回）では前年度決算、活動報告及びその年度の予算編成、活動計画について審議を行う。年度途中での活動状況報告、次年度に向けての活動内容の見直しや検討も行う。県、関東、全国のPTAや私学の研修会にも参加している。また、学校行事に参加や協力をし、年2回の新聞の発行も行っている。新聞では、主に教育振興会の活動報告や予算編成、決算の報告をしている。 （2）理事会 理事会（年2回）では本部役員会で審議された前年度決算や活動報告及びその年度の予算編成や活動内容について検討、協議をする。また、学校参加協力、県内一斉マナーアップ運動への参加をする。
主 な 活 動	1. PTA 行事に対する任意参加、活動内容の合理化 昨今の夫婦共働き家庭の増加、仕事の繁忙化に伴い、教育振興会の役員や理事を引き受けてくださる保護者の数が減少傾向にあった。そこで、本校教育振興会では、仕事を合理化することで保護者の負担を減らし、各家庭が役員や理事を引き受けやすくするように努めた。まず、年間の活動内容を改めて検討し、簡略化を図った。総会や本部役員会で検討する資料については、事前に本校で活用している学校管理システム「BLEND（ブレンド）」を用いて配信し、事前に目を通してもらうようにした。これにより、顔を合わせて検討する時間を簡略化することができた。通年の本部役員会や理事会等の開催数も減らす見通しである。また、研修会や総会等の参加については任意とし、役員の都合に合わせることにした。これにより、現職の役員や理事の負担も大幅に減らすことができた。 2. 学校行事の運営への積極的協力と生徒の活動支援 明和県央高等学校は隔年ごとに文化祭を開催しており、昨年度が文化祭開催の年であった。教育振興会では、学校行事の活性化及び生徒や来校した保護者のため、喫茶店を運営した。事前準備として、買い出しや会場の飾りつけ、工作等の会場設営を行っ

た。予定が合う人たちによる任意参加での手伝いであったが、多くの人が手伝ってくれたため、1日で無事準備を終えることができた。当日は飲み物とちょっとした軽食を用意したが、大変盛況に終わった。この日も任意参加であったが、多くの人が手伝ってくれて、後片付けから撤収まで、非常に速やかに完了することができた。

球技大会や体育祭では、生徒1人につき1本ずつ飲み物の提供をしている。時期的に暑い中開催される行事のため、生徒が健康で力を発揮できるように、そして行事が無事に進行するようという思いから、毎年振興会から配布をしている。

毎年秋に開催されるマラソン大会では、完走した生徒への労いの気持ちとして、教育振興会から生徒1人につきリンゴを1個配布している。生徒を近くで激励したい、完走した生徒に直接リンゴを渡したいという役員理事の思いから、ゴール地点周辺に待機し、ゴールした生徒に直接リンゴを手渡すという方法を取っている。コロナ禍により、マラソン大会は開催されてもリンゴを直接渡すことはできなかったが、ここにきてようやく、数年ぶりにリンゴを手渡しすることができた。生徒も完走したばかりのところで疲れていただろうが、お礼を言って嬉しそうにリンゴを受け取る姿が印象的だった。



本校では毎年、卒業式の日の夜に教員と保護者で生徒の卒業を祝い語らう「卒業祝賀感謝の会」が開催される。この行事は教育振興会が主催する。この会では3年の役員、理事も「3年保護者」の立場、として参加するため、主催側は2年と1年の役員となる。振興会役員が、3年保護者と教職員が笑顔で祝える場となるよう、精一杯おもてなしをする。

